著書・解説-2008 (0225)

1 . 著書

- (1) 大柳 満之(分筆:燃焼合成の項)「第5版実験化学講座」(編者:日本化学会)丸 善(2005)
- (2) 大柳 満之(分筆)「燃焼合成の化学」(編者:小泉 光恵)、ティ・・アイ・シィ - (株)(1992)

2.解説

- (1) 大柳満之、"加圧燃焼合成法によるダイヤモンド-超硬合金傾斜材料の作製"**化学** 工業、54[11],36-41(2003)
- (2) 大柳満之、"アルミドロスからのスピネル耐火物原料の合成"**セラミックス、37[12]、** 941-945(2002)
- (3) 大柳満之、"誘導場活性化合成法によるアルミドロスからのスピネル型耐火物原料の省エネ合成"、Bulletin of Okayama Ceramics Research Foundation, Vol.10[1], 43-46(2001)
- (4) 大柳満之、"ダイヤモンド-超硬合金複合材料の誘導場活性化燃焼合成"**高温学会 誌、**27[3]、104-107(2001)
- (5) 大柳満之、"新燃焼合成プロセスによるダイヤモンド-超硬合金複合材料の作製"、**セラミックス**、<u>35[3]</u>、199-201(2000)
- (6) 大柳満之、小泉光恵 " 燃焼合成による超砥粒メタルボンド研削砥石用セグメントの製造 "、 *工業材料、47-9、28-32(1999*)
- (7) 大柳満之、"非酸化物固溶体の燃焼合成"、*材料、<u>47</u>、1197-1198(1998)*
- (8) 大柳満之、"燃焼合成法による異種材料の接合"*セラミックス、29、206(1994)*
- (9) 大柳 満之、"ダイヤモンド-金属の瞬間ろう付け接合"、**バウンダリー、**<u>8</u>、37 (1992)
- (10)大柳 満之、"燃焼合成の応用[3]-異種材料の瞬間接合"、*ニュ・セラミック* ス、<u>5</u>、79 (1992)
- (11)大柳 満之、小泉 光恵、"自己燃焼法によるセラミックスの瞬間接合"、**先端技術//イライト、**94、1 (1991)

- (12) 大柳 満之、竹谷 芳一、中村 吉紀、上條栄治、小泉 光恵、"自己燃焼反応熱 を 利用したダイヤモンド・金属の瞬間接合"、ニュ・ダイヤモンド、22、28 (1991)
- (13)中村吉紀、松本介三良、大柳満之、上条栄治、小泉光恵、竹谷芳一、上田章 " 自己燃焼反応熱を利用したダイヤモンドと金属の瞬間接合技術の開発"、**滋賀県工業** 技術センタ - 、研究報告、104(1991)